

定員100名
参加費：500円
(当日受付にて)
認知症ケア専門士
3単位修得講座

公益社団法人
認知症の人と家族の会

2023年

世界アルツハイマーデー記念(制定30周年)

主催：認知症の人と家族の会 群馬県支部 シンポジウム

「コロナ禍を振り返り、

これからの認知症ケアを語る」

2023年 9月17日(日)13:00~16:15

群馬県社会福祉総合センター8階ホール (会場参加のみで開催します)

私たちはこの3年間、新型コロナウイルスの蔓延という未曾有の困難に遭遇しました。それでも、本人・家族は家庭で、介護・看護職はそれぞれの持ち場で、大事な家族、利用者、患者を守るために、身を危険にさらしながら奮闘しました。その奮闘ぶりは語り継ぐべき大きな財産となったはずです。ようやく日常が戻りつつある今、それぞれの貴重な経験を語り合い、これからの認知症ケアについて語り合しましょう

プログラム

- 13:00 開会
- 13:10 シンポジスト発言
- 14:45 休憩
- 15:00 語り合い
- 16:10 まとめ
- 16:15 閉会

<シンポジウム発言者>

- ・新井淳一(介護家族)
- ・山口怜生(介護家族)
- ・糸井宮子(ケアマネジャー)
- ・高橋将弘(デイ、有料ホーム)
- ・眞下優樹(特養ホーム)
- ・磯律子(グループホーム)
- ・齋藤修一(訪問介護)
- ・大木美穂(病院・看護師)

申し込み方法：右のQRコードから Peatixにてお申し込みください。
または、裏面申込用紙にご記載いただき、FAXでも受け付けております。

<https://nintisyokazoku-gunma2023.peatix.com>



群馬県社会福祉協議会からの補助金を得て実施しております。

後援/ 厚生労働省 群馬県 日本認知症ケア学会 協賛/群馬県地域密着型サービス連絡協議会

「もっと知ろう もっと語ろう 認知症」

1994年、国際アルツハイマー病協会（ADI）は世界保健機関（WHO）と共同して、毎年9月21日を世界アルツハイマーデーと制定しました。ですから、今年は制定からちょうど30年の記念すべき年ということになります。

「家族の会」は1992年にADIに加盟し、世界中の仲間とともに、この日を起点として、認知症に対する理解を広げるために様々な活動を展開しています。さらに、2012年には、9月を「世界アルツハイマー月間」と定めその動きを強めています。群馬県も9月を「認知症理解促進月間」と定め、認知症の課題に取り組んでいます。

「家族の会」群馬県支部は、次のような活動に取り組んでいます

介護家族のつどい（10時～12時）

- 県央：毎月第4日曜日
- 太田：偶数月第3土曜日
- 館林：奇数月第3土曜日
- 渋川：毎月第2日曜日
- 伊勢崎：年間3回土曜日

「認知症の人と家族のための電話相談

（月～金曜日 祝日年末年始を除く10時～15時）

☎027-289-2740

支部会報

「わたぼうし」の発行

（毎月）

認知症介護家族支援講座（県内各地にて年4～6回）

認知症サポーター養成講座の開催

世界アルツハイマーデー記念講演会

「電話相談」、つどいの開催は、群馬県からの委託事業となっています

「家族の会」は、認知症の人、介護家族はもちろん、介護職の方などなたも入会できます。

公益社団法人認知症の人と家族の会 群馬県支部 電話 027-289-2740

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13-12 群馬県社会福祉総合センター7階

Twitter: 認知症の人と家族の会群馬県支部 アカウント @G60SKfcPbHnoUei

Fax用 シンポジウム申込用紙

（Peatixにてお申し込みされた方は不要です）

Fax(027-289-2741)にてお申し込みください

ご記入いただいた内容は、本シンポジウム以外には使用しません。

所属等		認知症との関わり
参加者氏名 (代表者を先頭に 記入してください)		
連絡先	〒	
	電話 メール	